

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立岡山工業高等学校	
実践者等		山本 茂樹	実践日 令和4年5月11日
実践場面 （教科・科目（単元名）、学校行事等）		総合的な探究の時間（岡工 PR 大賞）	
対象生徒（学年等）		全科2年生（317名）	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
		☐ その他（ ）	
	家庭学習	☐ 振り返り ☒ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 （１）【事前】生徒は4人1組のチームにおいて、条件を満たす内容で <u>chromebook を用いて学校 PR 動画を撮影し、自分の Classroom に動画を投稿する。</u> 担当者は、<u>動画の評価入力フォームを全生徒にメールで送る。</u> （２）【当日】投稿された動画を担任が chromebook を用いて黒板のスクリーンに投影させる。生徒はメモ（紙のワークシート）をとりながら動画を視聴し、1つの動画を視聴後、<u>chromebook を用いてメールで届いたフォームに評価を入力する。</u>全動画を視聴評価入力後、送信する。			
良かった点 ・ 生徒が入力したあとの集計が容易にできる。 ・ 休んでいた生徒も、同じ教育効果を得られる。			
【本時と家庭学習との連動】 （本時前） ・ <u>動画の撮影</u>をチーム内で協力し実践することができる。 （本時後） ・ 休んでいた生徒も、教室で実施していた生徒と同様の効果を得られる。 ・ 家庭でも他チームの動画を見ながら、本校の新たな良さに気づくことができる。			